

シャコバサボテン の 育て方

サボテン科 原産地：ブラジル南東部 別名：デンマークカクタス

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育状態								花芽分化				開花
置き場	休眠期			生長期			休眠期		つぼみがふくらむ			
置き場	屋内			屋外			屋内					
植替え 摘芯				植替え・摘芯					摘芯			

シャコバサボテンは、ブラジル原産で岩場やコケむした樹上に育ったりする着生植物です。19世紀初めヨーロッパにて紹介され様々な交配により園芸品種が育成されました。近年、日本にはデンマークカクタスとも呼ばれる由縁です。

■株の選び方

茎節は濃緑色で、つやのある物を選びましょう。
黄ばみ、赤み、しわのある物は避けた方が良いでしょう。

■置き場所

半日陰か明るい場所で、冬は室内、夏は屋外に置きます。
短日植物なので、つぼみが付くまで夜間照明のある所には置かないようにして下さい。

シャコバサボテンの育て方

■水やり

花の後、冬と真夏は水やりを控えます。それ以外の時期は、土が乾いてから十分に与えて下さい。花の咲く前は、乾かしすぎに注意しましょう。

■肥料

置き肥（ハッピーハウスなど）を生育の始まる4月に適量与え、4月下旬から7月上旬にかけ（梅雨前）、液肥（ハッピーハウス原液など）1000倍液を7～10日に1回与えましょう。
※その後の時期は、肥料ではなく、微量要素中心の活力剤（植物活力剤等）を与えましょう。

■摘芯

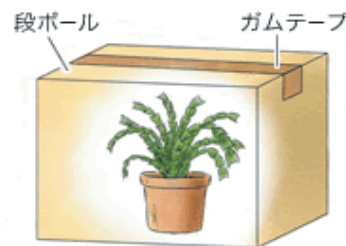
4月に、株の全体の姿を整え生長を促すためにも、株元から3～5節残して葉を摘み取ります。この摘み取った葉（茎節）を利用し挿し芽で増やすこともできます。
また、9月になって新しく伸びてきた新しい葉（一般に赤みを帯びている小さな葉）は、花芽分化までに成熟できないので摘芯します。

■植え替え

2年に1回、4月頃に根土を少し落として植えかえます。根腐れしているものは、土を落とし、腐った根を除き、小さめの鉢に植え直しましょう。土は、シャコバサボテン専用のものが手軽に植えかえが行えます。
また、自分で配合する場合は、赤玉土7：腐葉土2：牛フン1に、くん炭を1割混ぜたものが良いでしょう。

■上手に花を咲かせるには

室内などで育てていると、電灯の明るさに反応して花芽をつくれな場合があります。そのような時は段ボール箱等で遮光して、花芽を分化させます。（右図参照）
1ヶ月間毎日行い、途中でやらない日があったら改めて最初から行います。その後は平常の管理に戻して下さい。



病害虫

■害虫

1. ナメクジ

「症状」 夏の高温多湿時期に、葉を食害します。

「対策」 【予防】 ナメクジ駆除剤を用います。

【駆除】 ナメクジは夜に活動するので、みつけ次第捕殺します。

※農薬はラベル等に記載されている使用基準に従い、適用のある作物に使用して下さい。

